

アスファルトプラントにおける加熱アスファルト混合物試験練り立会検査基準

(目的)

- 1 この検査基準は、浜松市が発注する工事に使用するアスファルト安定処理路盤材（以下「安定処理路盤材」という。）及び加熱アスファルト混合物（以下「混合物」という。）の検査等に関する必要な事項を定め、もって適正な品質を確保する事を目的とする。

(適用)

- 2 浜松市が発注する工事に使用する安定処理路盤材及び混合物はこの検査に合格したものを使用する。

(検査の申請)

- 3 検査を受けようとする者（以下「申請者」という。）は申請書（様式 - 1）に必要書類を添付して、財務部技術監理課（以下「技術監理課」という。）に1部提出しなければならない。

(審査等)

- 4 技術監理課長は、申請があったときはこれを審査し、確認した上で受理するものとする。

(検査)

- 5 検査は技術監理課検査職員（検査監）が行うこととする。
- 6 製造施設および製造過程等について以下の項目を検査する
 - (1) アスファルトプラントの定期点検の実施状況
 - (2) 室内配合試験による結果
 - (3) 現場配合における骨材合成粒度、ホットビン粒度と配合設計
 - (4) 混合までの手順等プラントの機械設備の状況
 - (5) 骨材の状態及び保管状況
- 7 室内配合試験による最適アスファルト量及びその前後（最適アスファルト量 $\pm 0.2 \sim 0.3\%$ ）にアスファルト量を変化させて混合物を製造し、以下の項目を検査し現場配合設計を確認する。ただし、消石灰入り混合物の製造は、通常混合物の試験済「現場配合設計決定表」がある場合、または通常混合物と同時に試験練りを実施する場合には、最適アスファルト量の混合物のみとする。なお、試験結果については、試験結果報告書を提出しなければならない。
 - (1) 混合温度、敷均し状態、転圧状態等
 - (2) マーシャル試験結果、アスファルト抽出試験結果及び特性試験（特別な対策を検討するのに必要なラベリング試験やホイールトラッキング試験等の試験。）結果
 - (3) アスファルトコンクリート再生骨材（以下「再生骨材」という。）の品質（粒度アスファルト含有量、アスファルト針入度、洗い試験で失われる量）
 - (4) 再生骨材を用いた混合物は1バッチあたり再生骨材混入率（併設加熱混合方式で30%～60%程度、間接加熱方式で30%以下）の印字記録等

(検査結果の通知)

- 8 技術監理課長は、検査終了後すみやかに検査の結果を申請者に通知する（様式 - 2）。品質規格等に適合する場合は現場配合設計決定書（様式 - 3）を付する。

(有効期間及び審査の省略等)

- 9 検査の結果、品質規格等に適合したものは、通知した期間(1年間)を試験練り立会い検査不要とする。ただしこの期間内に、使用材料の性状の変化等が生じた場合やプラントの新設や大幅な変更をした場合はこの限りではない。
- 10 静岡県または静岡県内の公共団体等が実施する試験練り立会い検査による使用承諾を受けた材料でその承諾有効期間内である場合は、検査を省略することができる。

附則

この基準は、平成25年4月1日から施行する。

附則

- 1 平成29年度の検査の結果については、第9で定める通知した期間を1年8か月とする。
- 2 この基準は、平成29年5月1日から施行する。

浜松市長

(財務部技術監理課)

(申請者)

住 所

会 社 名

代表者名

加熱アスファルト混合物の現場配合試験練り立会い検査申請書

下記の加熱アスファルト混合物に関する現場配合試験練り立会い検査について、必要書類を添付して申請します。

記

1. プラント工場概要

工場名：

所在地：

担当者：

電 話：

2. 混合物名

3. プラント型式

4. 検査希望日

平成 年 月 日 ()

5. 添付書類

- ・骨材試験成績表
- ・アスファルトの試験成績表(メーカーの試験結果)
- ・再生アスファルトの性状試験成績表
- ・室内配合設計書
- ・現場配合設計書
- ・浜松市溶融スラグ品質管理試験結果書(品質証明書)
- ・その他必要な書類()

浜財技 第 号
平成 年 月 日

様

浜松市長

加熱アスファルト混合物の現場配合試験練り立会い検査結果について（通知）

平成 年 月 日付けで申請のあった下記の加熱アスファルト混合物について、試験練り立会い検査を行なった結果、品質規格等に適合するので通知します。

記

1. アスファルトプラント名 :
2. 加熱アスファルト混合物の種類 : 別紙様式-3のとおり
3. 現場配合決定表 : 別紙様式-3のとおり
4. 検査年月日 : 平成 年 月 日
5. 試験練り立会い検査を不要とする有効期間 : 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで（1年間）

但し、使用材料の性状による変化等が生じた場合は、有効期限内でも試験練り立会い検査を行なうものとする。

平成 年度 現場配合設計決定表

混 合 物 の 種 類			
現 場 配 合 密 度 (g/cm ³)			
基 準 ア ス フ ァ ル ト 量 (%)			
安 定 度 (kN)			
フ ロ - 値 (1/100cm)			
空 隙 率 (%)			
飽 和 度 (%)			
動 的 安 定 度 (回/mm)			
粒 度	37.5 (mm)		
	31.5		
	26.5		
	19.0		
	13.2		
	4.75		
	2.36		
	0.6		
	0.3		
	0.15		
0.075			

上記の現場配合設計決定表は、下記のアスファルトプラントにおいて、平成 年 月 日に、試験練り立会い検査を行った結果、品質規格等に適合するものである。

アスファルトプラント名 住 所
商 号
代表者名

平成 年 月 日

浜松市長